



「これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て 喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。」（ヘブル 11:13）

CFNJ NEWS

クライスト・フォーザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院 2010.4・5月号 No.137



横浜グレースバイブルチャーチ主任牧師
スコット・ダウマ師

「約束を手に入れる」

2009年度3学期 卒業式メッセージ

■私が牧会している教会は横浜にあります。この横浜に「関内」という名の駅があります。なぜ「関内」かというと、幕府が外国人の入国を許した時、その外国人たち、特に宣教師たちに「関内」にいるようにと言いました。すなわち特別の許可がない限り「関内」から出られないということでした。当時の宣教師達が何年、あるいは何十年間その小さな「関内」で聖書を訳したりして働いても、人々は救われませんでした。しかしだからと言って私たちは彼らを責めることはできません。彼らは旅行が困難な時代に、何週間、何ヶ月もかけて日本まで来ました。生活も現代と違って大変な時代でした。一生懸命働きながらも、関内から関外へ行くことはできませんでした。私は彼らのことを思うと時々涙が出てきます。英語の表現で、“We are standing on their shoulders.”と言いますが、私たちは彼らの肩の上に乗っているということを忘れてはいけません。

■私は今50代です。これからもどんどん前進していこうと思っていますが、年をとるにつれて、次の世代のことや前の世代のことをよく考えるようになってきました。今日はそのテーマについて話していきます。「約束を手に入れる」ということです。主の約束を絶対受ける、神様が約束されたことを私たちは絶対受けられるということを考えていきましょう。では、ヘブル11章13節の御言葉を読みましょう。

「これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。」(ヘブル11:13)

■クリスチャンはたくさん約束をいただきます。二人三人集まって、イエス様のお名前によって祈るとなんでも与えられます。信仰をもって祈ると主が働かれます。デボーションをしていると、目に飛び込んでくる御言葉がありますね。主は約束やビジョン、幻を様々な方法で示されます。問題は、約束をいただいた時からその約束が成就する間です。その間が私たちの人生です。そこには信仰が必要です。希望が必要です。人生の中には冬も春も夏も秋もあります。良い時、大変な時があることをよく理解し、その約束を持ちながら長い道のりを歩むことがあります。それでは、この御言葉から4つのポイントを見ていきましょう。約束された方は忠実です。それを忘れてはいけません。こうなったらいいなあという淡い願いではなく、天と地を造られた神様がおっしゃったのです。できないことは何一つない全能の神が言われたのだから成就するのです。自分達が積極的にがんばるのではなく、神様が成し遂げてくださるので安心しましょう!

1. 約束のものを見る

■1番目は、「約束を見る」です。私たちはもっともっと想像力を働かせなくてはなりません。私は以前、新宿で働いていました。そして人通りの多い新宿駅の西口に立ち、こう想像しました。「この人たちはみんなクリスチャンになるんだ!」「この人たちは今どこかの集会に向かっている!」そのような思いをもって週何回もそこに立って祈りました。大きなビジョンを持っていたからです。私たちのフィリピンの教会では、年に一回くらい3万人のメンバー全員が一つの場所に集まります。みなさん、日本もそのようになるとビジョンを持ちましょう!20人教会ではなく、百人、千人単位の教会が何百何千と日本に建つという大きなビジョンを持ちましょう! アブラハムは天の星、砂の数ほどの子孫を与えると語られました。そしてアブラハムはその約束を見続けました。みなさん、ビジョンは大切です。主はあなたにどんな約束を与えられたか忘れてないでいてください。

2. 確信をもつ

■次に、彼らは約束を確信し、自信を持つようになりました。エサウは長男の権利をもらうというすばらしい主の約束が与えられていたのに、それよりも食べ物を探求しました。私たちには決断力が必要です。この約束を信じるか信じないかを選び取る決断が必要です。ある人はすばらしい預言を受けて素直に「信じます」と応答します。ある人は同じように言われても、「本当かな」と疑います。みなさん、信じ続けましょう。それは決断の連続です。私たちが主の約束を受けるか断るか、それは私たち次第です。神様の約束は絶対成ります。時には感情がまったく伴わないこともあるでしょう。私が開拓して間もないころ、メッセージをしても相手は椅子だけという時もありました。友達が、「スコット、日本での働きはむなしだよ。宣教師の墓場だ。もう引き上げて帰っておいで。」と言った時も、私は神様の約束を信じ続けました。成功するのに必要なのは、毎朝、「今日も約束を信じます」と確信を持ち続けていくことです。

3. 喜び迎える

■この「喜び迎える」というギリシャ語は、「抱く」という意味があります。時に私たちは主からの約束を抱く必要があるときもあります。原語にはもちろんこの日本語訳の「喜び迎える」というニュアンスも含まれています。私たちが本当に愛する人に会った時、抱きつくほど喜ぶことがありますね。それほどの感動をもって主の約束を喜び迎えましょう!毎日喜び迎えるのです。

4. 告白する

■ギリシャ語で「告白する(ホモロゲオ)」は、「同じ言葉を言う」という意味です。言葉にするとそこに力が放たれます。私たちの口には創造の力があります。神様ご自身、言葉によって創造の業をなされました。告白は大事です。では、誰に告白するのでしょうか。まず、神様にです。「お父様、あなたが私に、こうなりますと言わ

れたので、私も同じように言います。」と声に出して言います。私はこのような祈りをささげ、続けて言います。「私はイエス様の血潮によって聖められました。それゆえ王座に近づけます。私の願いはこれこれです。」そのように目をつぶって想像しながら祈ります。そうして天のお父様の顔を見上げると、喜んでおられるのがわかります。息子の願いに応えたいという表情です。そして、「イエス様のお名前によって祈ります。」と祈りを終えます。するとほっと安心します。その祈りや願いを成就させるのは私ではないからです。天のお父様がやったださるのです。私はただ、「ありがとう、お父さん。」と言うだけです。みなさん、信仰生活をもっとシンプルにやっ

ていきましょう。次に敵に告白します。「私はサタンに負けない」「イエス様の血潮によって私は勝利者です」「サタンの力はイエス様の十字架によって壊された」と。頭の中で考えるだけではなく、声に出して言う必要があります。状況に向かって告白します。これも聖書的です。山に向かって海に入れと言ったらそうなるのです。そして自分にも告白します。何度も何度もです。特にリーダーたちは周りの人からの励ましが少なくなりますから、自分で自分を励ます必要があります。私もよく自分に告白します。「スコット、神様があなたに言われたことは絶対に成ります。」と鏡の前で言います。そして他の人と共に告白することも大切です。一緒に祈り合っていくことです。それは大きな力になります。

■最後に二つの御言葉を見ましょう。「約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。」(ヘブル10:23)みなさん、告白していきましょう。神様は忠実なお方ですから絶対に成し遂げてくださいます。

「ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらすものなのです。あなたがたが神のみこころを行なって、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。」(ヘブル10:35-36)

■私たちは忍耐が苦手ですが、とても大事です。というのは、「確信を投げ捨ててはなりません。」と聖書が言っているからです。多くのリーダーが確信や約束を捨ててしまいます。その原因は、告白していないから、そして一人ぼっちになってしまうからです。そうすると、どんどん確信がなくなってしまいます。ですから、私たち自身、弱くならないように気をつけなければなりません。私たちは弱くならないための努力が必要です。このヘブル10章では、日々一緒に集まり励まし合いなさいと言っています。そうでなければどんどん自信がなくなってしまいます。励ましてくれる人と連絡をとりましょう。どんな人でも励ましが必要です。否定的なことを言う人には連絡しないほうがいいですね。「あきらめないで」「がまんして」「なんとかなるよ」と言って祈ってくれる人と連絡をとりましょう。そのようにして自信や確信を守り続けるのは私たちの責任です。これさえあれば私たちが主の約束から離れることはありません。聖書に出てくる彼らは約束の成就を見ませんでした。告白し続けました。私たちは生きている間に約束の成就を見たいですね。ともに励まし合い、祈り、告白していきましょう!

CFNJ聖書学院

卒業・修了式

学びを終えた12名が、御国の兵士となって新たな旅立ち！



■2010年3月5日(金)午前九時より、2009年度の卒業・修了式が横浜グレースバイブルチャーチの主任牧師、スコット・ダウマ師を迎え執り行われました。日本各地から家族や卒業生がかけつけてくださり、厳粛な中にもやわらいだ雰囲気我的祝福の時となりました。卒業・

修了したのは合計12名(卒業11名、修了1名)で、それぞれが在学中の感謝と今後の歩みの決意を力強く語りました。式後、食事をしながら在校生が制作したアルバムDVDを見たり、ドラマクラスの発表をかねた演劇が催されました。これから御国の拡大の為に各地に旅立っていく1人1人の為に祈りをよろしくお願いします。



●「迷い子の私、闇から光へ」創作伝道劇を演じる学生達



●祈りによって送り出される卒業生たち



(2年卒業)
木村 聖士



(2年卒業)
吉岡 みゆき



(2年卒業)
折茂 由起子



(2年卒業)
アルプス&CMPコース卒業
西森 美祈人



(2年卒業)
アルプス&CMPコース卒業
村谷 忠光



(2年卒業)
アルプスコース卒業
西岡 潤也



(2年卒業)
アルプスコース卒業
北中 芳樹

■卒業できたことを主に感謝します。私は、子どものように自分を学びました。子どものように自分を低くすること。子どものように求めること。子どものような信仰を持つこと。そして、子どものように純粋に生きていきたいです。

■半ば強引に北の地まで神様に連れ出されたのが2年前。学院にいる間に、癒され、召しをもらい、沢山神様や兄弟姉妹と交わって楽しんで。恵みを沢山受けて元気に卒業します！イエス様、色んな事教えてくれてありがとうございます！

■主の御名を賛美します。今日まで忠実に導いてくださった主と、祈りをもって支えてくださった多くの兄弟姉妹や先生方、それから家族に心から感謝します。この学院で、御父と御子がひとつであるように、主イエス様と私もひとつであるということが体験できました。これからは主と共に歩んでいきます。

■ハレルヤ！神様の守りの中で無事3年間を終えることができました！この3年間は「神様から受けた3年間」でした。たくさんの方に支えられ、励まされ、時には碎かれ、この3年間は私にとって忘れられない3年間でした。これからは学んだことを生かし、神様の期待に応えて歩んでゆきます！ハレルヤ！ワンウェイジャーナル！

■ハレルヤ、主の御名をたたえます。多くの励まし、祈りがあり、神様の愛を知ることができた3年間でした。これからも神様の愛を体験し、人々に神様の愛を伝えていきたいです。

■本当にあつと言った3年間！けれどもこの3年間の学院での学びと生活は、私にとって豊かな恵みの時でした。この豊かな時を、祈りを通して、また実際の助けに下された多くの方に感謝を申し上げたいと思います。主が私をここまで導いて下さった事を忘れず、そしてこれからも主の導きから目を離さずに、歩んでゆきます。

■ハレルヤ。主の御名を称えます。滋養でMACの準社員をしていただき、主はCFNJへの扉を開いて下さいました。その2年後、私は恵みによりアルプスコースへと導かれました。その中で私は、新しく立ち上がる事ができました。主のあわれみのゆえです。八お世話になった方々へ、本当にありがとうございます。今もそしてこれからも……。



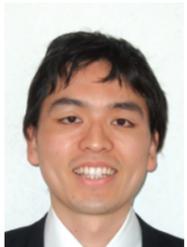
(1年卒業)
田口 れん



(2年卒業)
棟安 絵里子



(2年卒業)
富吉 巴石路



(2年卒業)
滝沢 真一



(2年卒業)
増田 成遂

■ハレルヤ！御名を賛美いたします！主は素晴らしいお方です。学院に入学し1年と1学期の間、数えられないほどの恵みを受けました。本当に貴重な経験をさせていただきました。学院に来て良かったです。主に感謝します。祈り、サポートしてくださった方々、ありがとうございます。これからも主に信頼して歩みます。進め！

■神さまありがとう！すばらしい仲間と共に毎日神さまを賛美し神さまのことを学んだ学院生活は大きな財産です！神さまは本当に真実な方です！愛といのちと希望を与えてくださった方です！(エレミヤ三十一章三節)『私は限りなき愛をもって、あなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実を尽くしてきた。』2年間ありがとうございました。

■いやー！神様は恵み深い、それを実感させられる学院生活でした。なんとなく神様の呼ばれる方に歩いて学院に来た私ですが、学院でただただ恵み深い神様にお会いし、神様と共に歩むことを決断することができました。私を支え続けてくださった方々に心から感謝です。

■最高に楽しい2年間でした。今私が信じている神様は、入学前に信じていた神様よりも倍くらい大きくなりました。(実際の神様はそのさらに1億倍以上でしょうから、まだまだですが)多くの方々にお世話になりました。本当にありがとうございます！今後は私の神の国の働きのために続けてお祈りくだされば幸いです。

■2年間というときは、本当にあつという間でした。まだまだ、未熟な僕ですが、この学院で学び、様々な分野において成長したことを感じています。次のStepでの学びは、これからも続きますが、ここまで導いてくださった神様に感謝です。また、祈り支えてくれていた、両親、母教会、友達へ感謝しつつ次のStepへ進んでいこうと思います。これからも、よろしくお祈りします。



何故、ダーウィンは信仰を失ったか？ 「神の創造の美しさと進化論の虚しさ」

オラフ・カートハウス博士

CFNJ 聖書学院講師・千歳科学技術大学光科学部物質光科学科教授・Dr.rer.nat.(理学博士)・ICF 教会会員

創造科学講義



■人は、イエス・キリストを「精神異常者」あるいは「神の御子」とみなすことができますし、パウロの教えに従うこともできますし、それを「時代遅れ」とみなすこともできます。これは個人の選択であり、個人の決定によってどうとらえるかが変わります。しかし何といっても最も論争的になるのは、聖書の最初の書巻である創世記でしょう。創造？エデンの園？世界的洪水？私たちクリスチャンは、よく次のような言葉を耳にします。「これらはただの物語だよ。教育を受け、啓発された我々人間は、これが真実でないことを知っているのだ。」しかしこの言葉は正しいでしょうか？

私は化学の博士号を持つ科学者ですが、宇宙も、植物と動物を含めた地球、そして人間も全能の神によって創られたと信じています。CFNJ 聖書学院の「創造科学」の授業を通して、科学者の考え方や、科学の性質、科学的探究について説明しましたが、科学的知識には程度の違いがあります。「重力は現実存在し、ニュートンの重力の法則は正しい。」と言うのと、「生命は 35 億年前に始まり、人間もアペマも同じ祖先を持っているということ私たちが知っている。」と言うのは、知識のレベルが違うということを私は学生に教えます。

前者を証明するためには実験ができます。しかし後者は証明することができません。これは、神が宇宙の創造者であると言うのと同じレベルの事であり、信仰の声明なのです。驚くべきことに、最近さらに多くの天文学者、宇宙学者、素粒子物理学者が、宇宙やすべての素粒子がどのようにして存在するようになったかはわからないということを知っているのです！ある科学者はこれを知ることには不可能だとさえ言います。すべての力と粒子は驚くほどきめ細かく調整されています。これらが精密にバランスを保っているものでなければ、宇宙は存在できないのです。このような事実は、創造者が存在し、また私たちの存在には意義がある事を明確に示しています。しかし生物学の分野においては、「新無神論者」と言われるリチャード・ドーキンズのように、人間はバクテリアから進化し人生には意味がないと主張する人々の大きな声しか聞こえてきません。

2009 年はダーウィンの生誕 200 年の年であり、1859 年には彼の有名な著書「種の起源」が出版されました。ダーウィンが進化論を展開したのは、なぜ深海に余りにも多くの隠された美があるのか、あるいは、なぜ自然界には余りにも多くの残酷さがあるのか理解できなかったからです。神が善ならば世界をこんなふうに創ったはずがないと彼は思ったのです。ダーウィンが信仰を失うきっかけとなった最後の悲劇は彼の 10 才の娘の死でした。神は超自然のお方であり、私たちは完全には神を理解することができないということを彼は悟る事ができなかったのです。又、彼は、神の被造物を腐敗させ、苦しみを始動させた人間の墮落という事

実を考慮しませんでした。

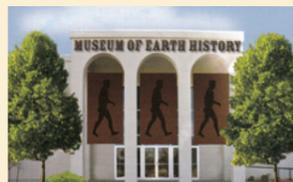
ダーウィンの進化論に疑問を持つ生物学者は笑いものにされ、大きな圧力をかけられ迫害を受けます。学校では進化論しか教えられません。私たちの存在を説明し得る他の考え方は教えられません。私は CFNJ 聖書学院の講義の中で、生きた細胞というものがかいかに美しく、複雑に入り組んだものであるかを示すビデオを見せ、説明しました。細胞が生きていくためには、何千もの DNA 分子や、タンパク質、また他の複雑な化学物質がとてつもなく精密に相互作用しなければならないのです。これがすべて「何も無いところから」進化したと説明することはむずかしいのです。講義の後半部分で私は、進化論を説明するのに最もよく用いられるいくつかの論点の正体を暴露します。化石の発見も、種の類似性も、種の中の変化（鳥のくちばしの大きさの変化や抗生物質の抵抗力の変化など）のどれも、進化を証明するものではありません。

CFNJ 聖書学院での講義を通して、進化と創造について話し合えるために、学生たちに科学の基本的な知識を増進したいと考えています。学生たちが進化の「証拠」を批判的な目で見えるようになってほしいと考えています。このようにして、人々との会話の中で進化の話が出てくる時に、学生達が確信を持って答え、科学的知識を伴った、神による創造の証拠がある事を話すことによって私たちの立場をしっかりと支持することができるのです。



The Museum of Earth History アメリカ、ダラス本校、CFNJ 聖書学院 「地球歴史博物館」プロジェクト始動！

■テキサス州ダラス市にあるクライスト・フォード・ネイションズ (CFN) は現在「地球歴史博物館」の開館準備をしています。この「地球歴史博物館」は、科学的展示物や恐竜の化石などの考古学的遺物、マルチメディア・ディスプレイなどを通して、聖書の見地に基づいた地球の創造と歴史を楽しく学ぶことのできる施設になります。創造科学の分野における新発見についての講義なども行われる予定で、すでに 500 席の階段講堂も完成し

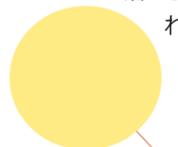


現在建築中の「地球歴史博物館」年内完成予定！

ており、最高レベルの映画が上映されることになっています。場所は CFN のキャンパス内にあり、2010 年春春夏の開館を目指して準備をしています。総予算は約 6 億 4 千万円で、現在完成に必要な献金を募っています。将来は、博物館の主要な部分が完成した後、隣接地に「クリエーション・ガーデン」や「恐竜特別保存地」を開く予定であり、聖書に基づいた地球の歴史を教える博物館として大いに期待されています。

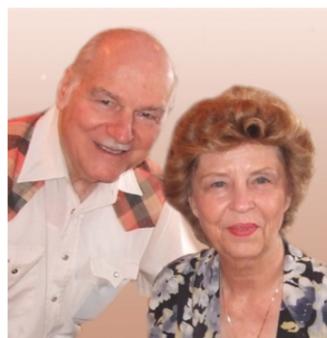
World Prayer and Share Letter

この地球上には多くの国々や人々がいますが、2つの王国しかありません。ひとつは、光、いのち、真理、愛である神の王国、もうひとつは暗闇、死、誤り、憎悪であるサタンの王国です。この二つの王国は、国家レベルでも個人レベルでも常にぶつかり合っています。私たちの敵であるサタンはいつもクリスチャンの信仰と生活に立ち向かってきます。私達がキリストと真理のために立つ時、私たちは「戦いのために生まれた」ことを認識しておかなければなりません。私たちの罪の代価を支払うためのキリストの死により、又、私たちの勝利を保証するキリストの復活により、主はすでに戦いに勝利しておられます。しかし、私たちはこの時代の終わりに再び主がこの地に來れるまで、主の力をもって戦い続けなければなりません。今日の出来事はその戦いを示しています。



世界のための祈り

とりなし手の皆様へ



チャールズ&ダイアン・グリコ

再び、北朝鮮が迫害者リストのトップに！

過去8年間、北朝鮮はクリスチャンへの迫害が強い国としてトップにランク付けされています。クリスチャンがこれほどひどく組織的な方法で迫害されている国は他にありません。あらゆる宗教活動は北朝鮮の社会主義に対する反乱として認識されます。2009年、金正日総書記はクリスチャンを狙い、捕らえて拷問し、殺害しました。1人が投獄されると、その家族の3世代も投獄されることがよくあります。約20万人と推測されている政治犯の4分の1(約5万人)はクリスチャンです。この迫害にもかかわらず、過去10年でクリスチャン人口は増えています。彼らは秘密のうちに自分達の信仰を実践していますが、見つかることもあるのでグループで歌ったりすることはありません。北朝鮮のクリスチャンは「自分達の安全のためでなく、強められ続けるように祈ってください」と言っています。彼らは、「人に知られないようでも、よく知られ、死にそうでも、見よ、生きており、罰せられているようであっても、殺されず、悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持たないようでも、すべてのものを持っています。」(IIコリント 6:9-10) と言って迫害されたパウロと共鳴するのです。(編集者注: この情報は、迫害について取り扱っている世界最大の宣教団体、オープンドアーズからのものです。彼らはワールド・ウォッチ・リストにある50ヶ国のうち46ヶ国で働いています。)

北朝鮮のクリスチャンへの援助

ある2つのミニストリーは、北朝鮮のクリスチャンのために聖書を土台としたリーダーシップ訓練を提供するラジオ番組を一日30分放送することを始めました。この番組で教えられたカリキュラムは、将来北朝鮮の教会での奉仕や、教会成長のために準備をしている、国外追放になった北朝鮮のクリスチャンのために、韓国のソウルの「地下大学」でも教えられています。(編集者注: この力強いミニストリーが成功するためにどうぞお祈りください。)

中絶ホロコーストに対する流れを変える

妊娠中絶で何百万人もの子どもが世界中で死にました。墮胎が合法になって以来、アメリカだけでも、約4600万もの純真な命が奪われました。しかし、妊娠中絶を望む妊娠中の母親が、子宮にいる赤ちゃんのソノグラム(超音波)写真を見ると、80%の母親が妊娠中絶をやめて、子どもを出産することを選び取りました！わずか数カ月前、米国家族計画連盟(中絶を施す)の元ディレクター、アビー・ジョンソンは、超音波技術(ソノグラム)で妊娠中絶の手順を見た時、心が沈みました。胎児が母親の子宮からむしり取られたとき、「赤ちゃんこ」になるのを見たのです。彼女は、米国家族計画連盟を辞めて、かつて彼女がディレクターをしていたテキサス州ブライアンのクリニックの外で、「いのちを守る会」(Coalition for Life)の祈りのグループに加わったのです。



編集者注: ソノグラム・プログラムの成功をお祈りください。2010年3月、テキサス州の共和党は、医学的に不要な妊娠中絶を受けようとしている母親にソノグラムを見せることを課する法律の提案を投票にかけようとしています。また、アメリカの他の2つの州で、胎児を保護するために、憲法改正する署名を集めようとしている「胎児を人間として認める運動」のためにもお祈りください。



ゲストスピーカー講義

ゲストスピーカーの講義の聴講は無料です。(席上献金あり)どなたでも受講できます。



●4月12日(月)～入学式
●13日(火)～15日(木)～講義

ロドルフォ・ガルサ師

メキシコ アミスタ・デ・モントレ牧師。エピセントロ聖書学院、学院長。前CFNJ聖書学院長。

●時間/1-2時間目 (午前8:45～10:55まで)



●6月1日(火)～講義

キース・バンクス師

プロのワーシップドラマーであり、油注がれた教師。ドラム経験は20年に渡り、現在CFNIドラム講師。数多くのワーシップ・カンファレン

スやドラム・クリニック、DVD録画、コンサートなどに参加。礼拝についての教えには定評がある。

●時間/1-2-3時間目 (午前8:45～12:00まで)

2010年1学期のゲストスピーカー 及び、講義予定表



1-2年コース (2010年4月12日～7月2日) (敬称略)

	月	火	水	木	金
1 時間目 AM8:45～9:40	新約聖書概論(1) 田中信矢	ピリピ書(喜びの手紙) 小栗昭夫	ルカの福音書 西森昌二	詩篇 田中博	幕屋の学び 松原望
2 時間目 AM10:00～10:55	新約聖書概論(1) 田中信矢	ピリピ書(喜びの手紙) 小栗昭夫	ルカの福音書 西森昌二	詩篇 田中博	幕屋の学び 松原望
3 時間目 AM11:05～12:00	弟子訓練 鍛冶川利文	日本教会史 鍛冶川利文	日本教会史 鍛冶川利文	賛美の土台 岡田留美子	エリヤとエリシャ ジェリー・ジャンセン

選択課目

午後 PM13:00～15:00	ピアノクラス 外山妃美子	タンバリンクラス 鍛冶川紀子	実習 (必修)	ドラマ演劇コース 鍛冶川紀子
---------------------	-----------------	-------------------	------------	-------------------

Youth For The Nations 2010



予告!

- 日時: 2010年 7月16日(金)・17日(土)・18日(日)
- ゲスト: ジャレッド・ブライアント師
- 場所: CFNJ 聖書学院 (アメリカのユースチーム10数名参加予定)



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

